ラジオの操作方法（各部の名称をご覧ください）

●⑭テープ／ラジオ切替スイッチで”ラジオ”を選ぶ。
●FMを聞く場合は⑧FM スイッチでFMにしてください。
●AMを聞く場合は⑨AM スイッチでAMにしてください。
●**お好きな放送局付近に合わせ音声がよく聞こえる周波数に微調整します。**
●音量は、⑬音量ダイヤルで調整してください。
●FMを聞く場合は②アンテナを伸ばして良く受信できる位置にしてください。
●AMは本体の中にバーコアというアンテナが入っていますので、向きを変え良く聞こえるようにしてください。
●ラジオを消す時は、⑭テープ／ラジオ切替スイッチを”テープ”の位置にします。

カセットの操作方法（各部の名称をご覧ください）

＜テープを聴くには＞
●⑭テープ／ラジオ切替スイッチで“テープ”の位置にします。
●カセット部の開閉カバーを手前に開きます。カセットテープのたるみをとってから、テープの見える方を上にしてテープを入れます。
テープは右から左へ流れます。右側にテープが巻かれた状態でセットします。
●⑦再生ボタンを押します。音量は、⑬音量ダイヤルで調節します。

＜送り・戻し・停止＞
●⑤送りボタンを押すと左リールに ⑥戻しボタンを押すと右リールにそれぞれテープが巻かれ、⑨停止ボタンを押すと止まります。

＜ラジオの録音＞
●⑭テープ/ラジオ切替スイッチで“ラジオ”の位置にし、ラジオの周波数をお好みの 局に選局しておきます。
●カセット部の カバーを開き、カセットテープを入れます。⑧録音ボタンを押すと録音を開始します。
停止する時は、⑨停止ボタンを押して止めてください。また、テープが終わるとオートストップ機能が働き自動停止します。

＜内蔵マイクによる録音＞
●⑭テープ／ラジオ切替スイッチで“テープ”の位置にします。
●カセット部のカバーを開き、カセットテープを入れます。⑧録音ボタンを押すと録音を開始。(⑩内蔵マイクは本体**正面**にあります）停止する時は、⑨停止ボタンを押して止めてください。また、テープが終わるとオートストップ機能が働き自動停止します。
注）新たに録音すると前に録音されたものが消去され、新しく録音したものだけになりますのでご注意ください。

＜ 外部マイク端子よる録音 ＞
●⑭テープ／ラジオ切替スイッチで“テープ”の位置にします。
●カセット部のカバーを開き、カセットテープを入れます。**同梱されているミニマイクの先端を　外部入力マイク端子に入れ**⑧ 録音ボタンを押すと録音を開始。停止する時は、⑨停止ボタンを押して止めてください。
また、テープが終わるとオートストップ機能が働き自動停止します。

注）新たに録音すると前に録音されたものが消去され、新しく録音したものだけになりますのでご注意ください。

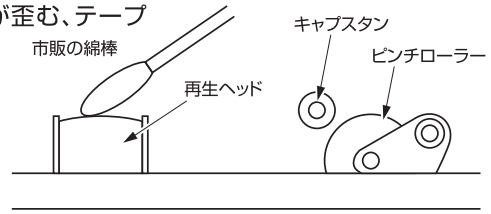
＜市販のACアダプターはお使いいただけません＞
市販ＡＣアダプターに関してメーカーによって電圧／プラグ径が異なりショートする恐れがありますので絶対使用はしないでください
※上記の場合は保証対象外とさせていただきます

＜イヤホンを使用する場合＞
●音量をしぼってから、⑪イヤホン端子に付属のイヤホンを差し込んでください。

⚠ あなたがテープレコーダーで録音したものは、個人として楽しむことのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

お手入れの仕方

再生ヘッドキャプスタン、ピンチローラーなどの接触面が汚れると、音が小さくなる、音が歪む、テープが巻きつくなどの原因になりますので、市販の綿棒で定期的に拭いてください。
●カセット蓋を開き再生ボタンを押してヘッド部分が見えるようにしてください。
●綿棒をキャプスタンやピンチローラーに巻き込まないようにご注意ください。
●ヘッドにはドライバーやピンセットなどは近づけないでください。性能が悪くなることがあります。



ヘッドの消磁　長時間使用していると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりしてきます。
市販の消磁器で定期的にヘッドを消磁をしてください。（詳しくはお買い求めの消磁器の説明書をしてください）

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次のことをお調べください。
お調べになっても、なお不具合がある時は使用を中止し、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	原因	処置方法
・カセットテープの音がしない。 ・早送り・巻戻し等の操作ができない。	電池の入れ方を誤っていませんか。 電池が消耗していませんか。	⊕⊖確認して正しく入れる。 電池を2本とも新しいものと交換する。
・ラジオが受信されない。（ラジオの音がしない）	⑭テープ／ラジオ切替スイッチをテープにする。 電池の入れ方を誤っていませんか。／電池が消耗していませんか。	⑭テープ／ラジオ切替スイッチをラジオにする ⊕⊖確認して正しく入れる。 電池を2本とも新しいものと交換する。
・AM放送が聞き取りにくい。	本体内受信アンテナの向きが電波の強い方向から外れていませんか。 電池が消耗していませんか。 **ACアダプター使用時、AMラジオ受信の場合にはノイズが入る恐れがあります。**	本体の向きを変え、最もよく受信できる位置にする。窓際に移動する。 電池を2本とも新しいものと交換する。 **乾電池で使用してください。**
・FM放送が聞き取りにくい。	ロッドアンテナを伸ばしましたか。／電池が消耗していませんか。	ロッドアンテナを伸ばす。窓際に移動する。 電池を2本とも新しいものと交換する。

製品仕様

品番	WM-820
受信周波数帯域	FM: 76-108MHz　AM: 530-1600KHz
最大出力	0. 5w×1　8Ω
スピーカー	50MM×1　／　モノラルラジオ
イヤホン口径	3.5MM

DC3V端子口径	3.5MM ⊕—●—⊖
本体寸法	**幅90x高さ120x奥行40mm**
本体重量	**約233g(乾電池含まず)**

●セット内容:本体×1／イヤホン×1／**ミニマイク**×1／ ACアダプター ×1

カセット使用時電池寿命
連続約 3 時間（マンガン乾電池使用時）　※音量により前後します。
連続約10 時間（アルカリ乾電池使用時）　※本商品の使用にはアルカリ乾電池をお薦めします。

輸入元　株式会社とうしょう

ミニラジカセ

取扱説明書

WM-820

ご使用になる前に必ず取扱説明書をよくお読みください。読み終えたあとも大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し、説明しています。

⚠	注 意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	警 告	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 注 意	⃠ 警 告
◆カセットテープやラジオの音量が小さくなったり歪んだり、時計が表示されなくなるようになったら、電池を全部新しいものと交換してください。	◆屋外で使用中、雷が鳴り出したら、アンテナをたたみ製品から離れてください。
◆むやみにこの機材を分解しないでください。故障の原因になります。	◆火中への投入、加熱、分解をしないでください。
◆スピーカーにクレジットカードやテレホンカードを近づけないでください。磁力の影響で使えなくなる恐れがあります。	

電池の取扱上の注意

電池を誤使用すると、発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。

■充電電池(ニッカドなど)は、絶対に使用しないでください。

■±(プラスマイナス)を正しくセットしてください。

■ショートさせたり、充電・分解・加熱・火の中に入れたりしないでください。

■長期間ご使用にならない時は電池を取り外してください。液漏れの原因になります。(使い切った電池はすぐ取り外してください。)

■この機器をご使用される場合、違う種類の電池を混ぜての使用をしないでください。

■電池を外した際に、誤って電池を飲むことがないようにご注意ください。(万一、飲み込んだ場合はすぐに医師へご相談ください。)

■電池の液が口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

使用上のご注意

●長期間(2週間程度)使用しない時は、液漏れ防止のため乾電池を外してください。

●カセットテープを聴くときには、テープのたるみは巻き取ってください。テープにたるみがあるときは、鉛筆などで巻き取ってからご使用ください。たるんだままで使用すると、テープが機械に巻き込まれて故障の原因になったり、大切なテープを痛めてしまいます。

●熱、ショック、水、湿気から**避けてください**

●極端な温度変化は結露の原因になりますのでお避けください。

●夏場の暑い車内や挨・海岸など砂の多い場所等に放置するとキャビネットの変形や故障等の原因になります。

●本体のお手入れには柔らかい布で乾拭きしてください。洗浄剤やアルコールなどのご使用はキャビネットの変質、故障の原因になりますのでお避けください。

●ラジオは高い建物が立ち並ぶところ、鉄筋コンクリートで出来たマンション等、建物内部やトンネル、電車の中など電波発信場所からかなり遠い地域では、電波がキャッチ出来ない事がございます。

●屋内で受信しにくい場合は、窓際など良く受信できる所に置いてください。

●本体の内部は大変精密に出来ていますので、落としたりぶつけたりするような強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

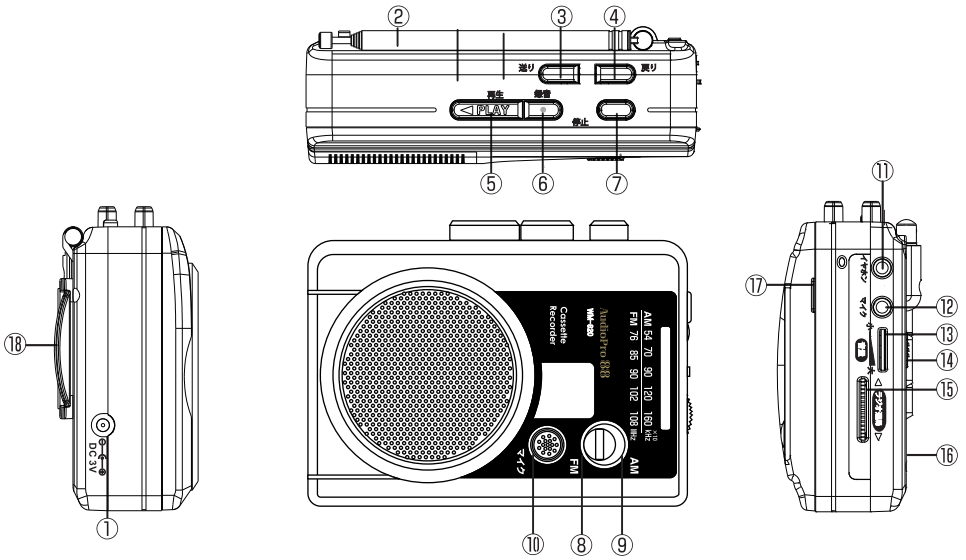
●イヤホンは消耗品です。破損等した場合は有償となります。イヤホンはφ3.5mmステレオ3極プラグをお使いください。

●山・谷などでは、ラジオの電波の届きにくい場所もあります。

●ロッドアンテナ伸張時は、目などに当たらない様にご注意ください。

各部の名称

①ACアダプターの差し込み口(DC3V)
②アンテナ
③送りボタン(F,F)
④戻しボタン(REW)
⑤再生ボタン(PLAY)
⑥録音ボタン(●)
⑦停止ボタン(STOP)
⑧FMスイッチ
⑨AMスイッチ
⑩内蔵マイク
⑪イヤホン端子
⑫外部入力マイク端子
⑬音量ダイヤル
⑭テープ/ラジオ切替スイッチ
⑮選局ダイヤル
⑯電池ボックス
⑰カセットテープの開閉カバー
⑱ベルトクリップ



電池の入れ方

●本体裏面の電池ボックスの蓋を下に押しながらずらして開きます。

●単3形乾電池2本を表示に従い正しく入れてください。

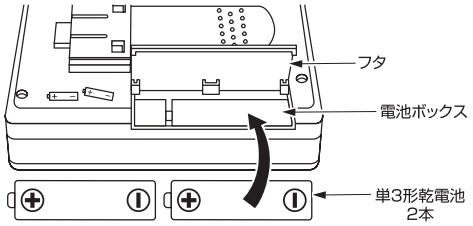
●プラスとマイナスを間違えると液漏れの原因になりますのでご注意ください。

●乾電池は古いものと新しいものを混ぜて使用はしないでください。

●電池を取り出しやすくするためにリボンは乾電池の下に敷いてください。
二本の乾電池の間に挟まると通電しないのでご注意ください
電池を入れて「カチッ」と音がするまで閉めてください。

●長時間使用しない場合は乾電池を取り出しておいてください。

※乾電池交換時期(目安)
カセットテープ再生時の音が出なくなったら交換時期です(ラジオのみ音がでます。)必ず新しいアルカリ乾電池に二本とも交換してください。

■充電式乾電池は使用できません

■ご自宅に長く置いてあるものなどは放電している恐れがあります。